

千葉県中小企業団体中央会 会長

坂戸 誠一



新年あけましておめでとうござい
ます。

会員の皆様には、希望あふれる爽や
かな新春をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

ご高承のとおり、我が国経済は二度
にわたるオイルショックや、失われた10
年を招来したといわれているバブル経
済の崩壊など、これまで幾多の困難な
課題に直面し、そのつど血のにじむよ
うな努力と創意工夫によりこれを克服
し、世界でもゆるぎのない経済的地位
を築いてまいりました。

しかしながら、昨今の経済情勢を顧
みますと、米国発の金融危機が全世界
を巻き込み、これが実体経済に与えた
影響は計り知れないものがあります。
100年に一度の金融危機とか、全治3
年の重症ともいわれております。比較

的影響が少なかったといわれている我が
国でも、急激な円高と世界的な株価の
暴落で、輸出の減少、設備投資や個人
消費の需要減といった負の連鎖に陥り、
一部の業種では生産調整や雇用削減の
動きも広がり、景気後退の不安を払拭で
きないまま越年いたしました。

さらに本年の景況を展望いたします
と、市場の縮小に伴う競争の激化が予
想されるうえに、グローバルゼーション
の進展に伴う市場の国際化や情報化の
さらなる進展など、今後適切に対応し
ていかなければならない問題が山積し、
先行き楽観を許されない厳しい状況が
当分の間続くものと思われれます。昨年
末には国際通貨基金（IMF）が、09
年は日米欧の先進国がそろってマイナス
成長になるとの見通しを発表しました。
これは戦後初めてのことだそうです。

こうした中であって、中小企業がこ
れまでのように活力ある多数として、
今後とも地域経済の屋台骨を担い、そ
の原動力としての使命を果たしていく
ためには、従来にも増して、情報・技術・
人材等のソフトな経営資源を充実させ、
企業の特徴にあった、より付加価値の
高い製品やサービスを創出する企業体
質に転換していくことが求められてお
ります。

しかし、中小企業が自らの力で新た

な活路を切り拓いていくためには、個々
の経営資源には自ら限りがあり、単独
で取り組むことは容易なことではあり
ません。中長期的な戦略をもって連携
ネットワークを構築し、お互いの優れた
経営資源を組合で共有し、これを有効
に組み合わせることによって、経営革新
や新分野進出など新たな展開を図って
いくことが有効な手段として再認識さ
れております。

本会といたしましても、やる気と能
力のある中小企業が、組合等連携組織
を活用して新たな課題にチャレンジす
るための支援機関として、引き続き中
核的な役割が果たせるよう、決意を新
たにしているところでございます。

また、今年の11月19日に幕張メッセ
において「中小企業団体全国大会」を
開催できますことは誠に光栄であり、
全国各地の中小企業団体の代表者の
方々を心よりお迎え申し上げたいと、
オール千葉県中央会として取り組んで
まいる所存でございますので、宜しくお
願いたします。

会員組合の皆様におかれましては、
組合組織を中心に一層の団結を強め、
この厳しい状況を克服し、さらなるご
繁栄を遂げられますよう、心から祈念
申し上げます、年頭の挨拶といたし
ます。



千葉県 知事
堂本 暁子

新年あけましておめでとございます。中小企業並びに中小企業団体の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、原油・原材料価格が異常な高騰を続ける中で年が明ける一方、後半にはアメリカ発の金融危機に端を発した世界同時不況への懸念が広まるなど、世界全体が不安と不透明感に覆われた年でした。

100年に一度の危機とも言われる状況の中で、日本経済はもちろん、県内経済も倒産件数の増加、有効求人倍率の低下、各指標が著しく悪化しております。中小企業の経営環境も、収益や採算の悪化、資金繰りなど厳しさを増していることと思えます。

そこで県では、昨年11月に「総合経済対策」を決定し、国の緊急総合経済対策

関連事業を速やかに実施するとともに、県独自のセーフティネット資金の金利引き下げや融資要件の緩和など、安心して事業活動に取り組める環境づくりに努めているところです。

また、非正規労働者の雇い止め問題等雇用環境も急速に悪化していることを受け、12月には千葉労働局と合同で緊急雇用対策本部を設置しました。今後は国、経済界、労働団体とも連携しながら、職者の再就職等に即応できる対策を図ってまいります。

「中小企業が元気になるれば地域が元気になる」、「中小企業を県の施策の真ん中に」。いずれも県の中小企業施策の基本方針である「ちば中小企業元気戦略」に掲げられた基本的な理念です。

県ではこの理念のもと、時代の流れを読み、様々な経営課題に立ち向かい、試行錯誤と創意工夫を重ねながら事業を展開する中小企業の皆様が働きやすい環境づくりに全力で取り組んでまいり所存です。

さて、米国では新年早々「Change（変革）」を掲げるオバマ新大統領が誕生します。奇しくも今年には、日本の社会のあり方を変えようと1999年6月に男女共同参画社会基本法が制定されてから10年を迎えます。

少子高齢化を背景とする労働力減少の時代を迎え、私たちも企業の皆様と手を

携えながらワークライフバランスを実現し、仕事にも家庭にも男女がともに参画し、能力を発揮しながら活き活きと生活ができる社会の実現に努めてまいります。

また、「観光立県ちば」の実現に向けた取組みも着実に成果を上げてきています。新年1月から早春の観光キャンペーン「2009・早春ちばめぐり」がスタートしました。3月までの間、「春に一番乗り！」をテーマとして、早春の花めぐりを中心に、初詣めぐり、新春の味めぐりなど、避寒地ちばの魅力の情報を全国に発信いたします。

今後とも、昨年10月に策定した今後5年間の観光関連施策の基本的な枠組みである「観光立県ちば推進基本計画」に基づき、総合的かつ計画的な施策を推進してまいります。

最後に、今年の干支である丑（牛）は、私たちに困難を乗り越えるための力強さ、忍耐力、注意深さ、努力を思い出させてくれます。

地域経済の牽引役である皆様方におかれましては、厳しい経営環境を克服するべく、牛のように粘り強く、そして着実に明るい未来に向かって歩を進めていただくことを願っております。

本年が、皆様にとって、希望に満ちた年となることを心から祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

全国中小企業団体中央会 会長

佐伯 昭雄



新年おめでとうございます。

平成21年の年頭に当たり、全国の中小企業の皆様並びに中小企業組合等中小企業団体の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は政治も経済も激動の年でした。政治においては福田内閣より麻生内閣へ、そして米国ではオバマ氏が大統領に選ばれました。この間急激な原油価格の上昇や多くの原材料の高騰などにより経済は100年に一度という危機的状況になりました。これは米国をはじめとする全世界的な問題であります。

中小企業の厳しい現状に関し、政府も緊急経済対策など多くの手段を講じていますが、簡単に解決するものでもありません。

今年も中小企業は我慢の年となることが予想されます。この様な時にこそ、組合に結集した中小企業の団結と連携が大切であります。金融情勢としては、昨年10月1日より商工中金が株式会社となり、中小企業金融公庫や国民生活金融公庫等の統合により新しい日本政策金融公庫が発足しました。今後とも中小企業の金融対策に万全を期して

いただきたいと考えております。

昨年11月20日に中小企業団体全国大会を、2300名の同志の参加を得て仙台市において盛大に開催し成功裏に終了することが出来ました。皆様方に厚く御礼申し上げます。

苦しい時ではありますが、明日のための開発などへの投資を怠らず希望の光が見える年としたいものです。

最後に皆様方にとってこの1年が良い年であることを祈念して年頭の挨拶と致します。





(株)商工中金千葉支店 支店長

渡邊 勉

新年明けましておめでとうございます。

平素は、当金庫業務につきましまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成21年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

当金庫は、平成20年10月1日、「株式会社商工組合中央金庫法（新商工中金法）」のもと、協同組織金融機関から特殊会社（特別の法律に基づく株式会社）形態に移行し、新たな一歩を踏み出しました。こうして無事、新体制への転換が行われましたのは、皆さまの変わらぬご支援の賜物であり、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の経済を振り返りま

すと、サブプライムローン問題を契機とする金融システム不安が次第に深刻化し、实体经济へも広範に悪影響が生じました。今後、こうした経済の悪化がどこまで進むのか、大変懸念される状況にあります。

当金庫の「中小企業月次景況観測」では、平成20年11月の景況判断指数が、過去最低値であった平成10年（1998年）6月を下回りました。第一には、内外需の不振から、売上高が減少に転じた他、

急激な円高も重なったため、大変厳しい採算状況が続いたこと、第二には、金融危機の影響等から、資金面でも環境が悪化したことが挙げられます。このように、中小企業を取り巻く環境も、企業や業種毎、または地域間の格差を伴いつつ、急速に厳しさを増す情勢となっております。

当金庫は、設立以来一貫して、中小企業の皆さまの成長・発展を願い、その実現に向けて努力をしております。中小企業の皆さまの環境は厳しく、予断を許しません。これまで以上に皆さまからの相談に對して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発

揮に全力を挙げて取組むことで、皆さまとともに、この難しい局面を克服してまいりたいと思います。

また、新商工中金法において、新たな子会社の保有など、業務範囲や自主性の拡大が措置されました。こうした機能を最大限活用し、ソリューション機能や目利き機能を一層強化することにより、商工中金グループとして、多様な金融サービスを効率的、安定的に提供することで、皆さまの経営ニーズに的確に対応してまいります。

商工中金は、株式会社に変りましたが、「中小企業組合と中小企業の皆さまの成長に貢献する」という使命は変わりません。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、また、「資産運用のよきパートナー」として、引き続き、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上に お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいります。今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。